

校長式辞（入学式）

本日ここに、多数の御来賓の皆様方の御臨席を賜り、平成31年度福島県立湯本高等学校の入学式を挙行できますことは、誠に喜ばしい限りであります。

義務教育課程を終了し、入学を許可された皆さん、入学おめでとうございます。

また、この良き日にあたり、お子様の健やかな成長を願い、導き育てられました御家族の皆様方に心から敬意を表します。

今、ここに240名の希望に満ち溢れた新入生を迎えることができ、教職員一同大変嬉しく思っています。

本校は「夢 勇気 友愛」の校訓のもと一人ひとりの生徒を大切にしたいきめ細かい指導が実践されています。教職員と生徒との距離が近く心と心のふれ合いがあります。そんな良き教育環境が、生徒の進路希望の実現や部活動における活躍に結実しています。

また、湯本高校は78年の伝統を有し、卒業生は様々な分野で活躍をしています。教育界を例にとっても、多くの方々が小・中・高の教員として活躍しています。

さて、私は、本校の78年の歴史をもとにして、本校の新たな伝統を創っていく皆さんに次の三点を申し上げておきたいと思います。

一点目は、「学びを大切にする」ということです。

高校は受け身の姿勢で学ぶのではなく、主体的な学びを深める場所です。毎日の授業で自分の興味関心を高めながら積極的に臨む必要があります。分かる喜び実感し、もっと何かを探究したい、という情熱を持ってください。学ぶことによって自己を豊かにし、他の人たちへの共感力や理解力を深め、困難な課題に冷静に立ち向かい創造的に解決してください。そして、本校の校訓にある「勇気」を持って、様々な課題を克服して「夢」を現実のものとしてください。

二点目は、「お互いに尊敬される存在になる」ということです。

この社会は人と人との信頼関係で成り立っているといっても過言ではありません。では、相手を信頼する気持ちは何から生まれるのか。それは相手を尊敬する気持ちからであると思います。私は、お互いに相手の優れた点を認め素晴らしいと感じ、お互いに尊敬の念を持つことが人と人との信頼関係を創ることになると考えます。人間は誰でも素晴らしい才能を持ってこの世に生まれています。その才能を発揮している者、未だに眠ったままにしている者、様々であると思います。しかし、一点目で申しました「学びを大切にする」ことが、豊かな自分を創り上げることにつながり、お互いに尊敬される存在になると考えます。

三点目は、「ルールを守る」ということです。

人間は社会的な生き物であり、一人では生きられません。二人以上の人間が快適な生活を送るためにはルールが必要になってきます。学校は学習をし、部活動に励み、人間関係を育みながら集団生活をする場です。その中では、一人ひとりが一定のルールを守る必要があります。湯本高校には湯本高校の学習や学校生活を送る上でのルールがあり、皆さんはそれらを守ることが要求されます。学校のルールを守ることが、快適で楽しい学校生活を送ることにつながります。さらには、将来、実社会で良き人間関係を保つことができ、責任感と実行力のある有為な人材となることにつながります。保護者の皆様のご理解のもとで日頃からルールを守ることがしっかりと実践できるよう指導していきたいと考えています。

以上三点を申し上げましたが、本校においては皆さん一人ひとりの将来を見据えながら、学力の向上を図るとともに、時代の変化と社会の要求にいち早く対応した教育を、教職員が一丸となって展開していきます。また、本校では教育に対する情熱を持ち、教科の専門

性が高く豊富な知識と経験を持った教職員が皆さんの教育に当たります。どうか安心して学校生活を送り、様々なことに積極的にチャレンジして自分を磨いてください。本校の教職員はそんな皆さんを全面的にバックアップしていきます。

心豊かでたくましい皆さんが、若さと情熱を持ち自己研鑽に励み、日々の学習活動や部活動に精進し三年後に良き変容を遂げることを期待し、また本日ご臨席を賜りました皆様や保護者の皆様には湯本高校の益々の発展のため、なお一層の御理解御支援を賜りますようお願いいたしまして、式辞といたします。

平成31年4月8日

福島県立湯本高等学校長 二瓶 晃一